

8月31日
発行

愛媛県立中央病院広報誌

い 小春日和 はるびも

2021年
第52号

ご自由にお持ち帰りください



新型コロナウイルス 感染症対策特集

新型コロナウイルス感染症対策に係るご寄附のお礼
mRNA ワクチン接種について
診療科紹介 感染症内科

- ・ドクターズカルテ：消化器外科 發知先生
- ・研修医紹介：1 年次研修生 畠山先生
- ・協力企業紹介：日清医療食品
- ・医師の異動情報
- ・2020 年度診療実績のご紹介
- ・連携医療機関紹介

新型コロナウイルス感染症対策に係るご寄附のお礼

多くの企業や団体、松山市内中学校生徒会の皆さまより、物資や食品、また心温まるメッセージをいただいております。表紙掲載の花菖蒲もいただいたものです。ご寄附いただきましたこと、心より御礼申し上げます。当院職員にとって、皆さまからの温かいご支援やご声援が大きな励みになっています。

今後も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に最善を尽くすとともに、県民の安心の拠り所となる病院として努めてまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



▲ 激励メッセージ、花束、入浴剤をいただきました



▲ うな丼弁当をいただきました



▲ オゾン発生装置をいただきました

ご寄附いただき、
感謝いたします。

【2021 年4月～7月】

- | |
|-------------|
| ○アイスクリーム |
| ○アマビエの折り紙 |
| ○激励メッセージ動画 |
| ○ブラックサンダー |
| ○シトラスリボン |
| ○きんちゃく袋 |
| ○ご寄附（金四拾万円） |

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地 TEL : 089-947-1111



ホームページは
こちらきゅん!



新型コロナウイルス感染症の治療は、この1年でかなり確立されてきました。新型コロナウイルス感染症が重症化する原因は免疫システムの暴走です。免疫の暴走を抑えるステロイドなどの免疫抑制剤が効くことがわかり、2020年の秋以降は重症化した人を救うことができるようになりました。しかし、それでも重症化する人はいますし、また軽症で済んだ10代、20代の若い人たちでも最長で半年間も味覚や嗅覚が回復しなかった人、目眩や動悸に悩まされた人もいました。軽症で済んだとしても得なことではない病気です。

ただ、見えてきた一筋の光があります。それがワクチンです。幸い、日本は現存するワクチンで最も有効なmRNAワクチンを大量に確保することができました。mRNAワクチンは20年近くの時間をかけて開発され、他のウイルス感染や癌ワクチンとして研究されてきた実績があります。コロナのワクチンとしても治験や世界で行われている接種後調査により、重篤な副反応はないこともわかっています。子供や妊娠中の方が接種しても問題ないこともわかってきました。私は3月に2回接種しましたが、何も問題なく終了しました。



▲打ちやすいように半袖がお勧めです！

ワクチンを打つ目的

- 自分の命を守るため
- 他人に感染させないため
- ワクチンを接種することができない人を接種した人たちで囲んで守ってあげるため

自分を守るだけでなく、
家族や大切な人
を守ることができます！

効果について

2回打って、2週間後には感染する可能性はかなり低くなり、重症化する可能性はほぼなくなります。またワクチンの効果は8か月以上続くこともわかっています。

数値で示すと…

- 有効率95%：100人の感染者が5人まで減ります。
- 新たな変異株デルタ株についても80%以上の有効率があります。
(2021年7月現在)

日本で接種できるワクチン

- ファイザー社製
- モデルナ社製
(2021年7月現在)
※効果はほぼ変わりありません。

新たな変異株の登場もあり、社会全体の接種率が上がらない限りはまだ流行は続きますので、ワクチンを接種したとしても、人混みに出る場合は引き続き注意が必要です。1回接種しただけでは効果は乏しいのですが、2回接種して2週間経てば、今までの「感染するかも」という不安な思いが解消され、心が軽くなりますので、もう少しの間、気を抜かず頑張りましょう！



地方ではまだ珍しい診療科ですが、当科では、熱が出た患者さんの診断や治療を行っています。特に持病がある方の熱は細菌による感染症が原因のことが多く、持病のある方の細菌感染症は重症になることがあります。中には診断や治療に難渋する感染症もあり、当科ではその治療が上手くいくようにサポートしています。



▲患者さんの細菌培養を確認して治療に生かします

また、熱の原因がすべて細菌感染症であるとも限らず、ウイルス感染症や膠原病など他の原因で熱が出ている場合もあります。細菌感染症ではない熱に対して、抗菌薬は無効であり、むしろ副作用の原因となり、また薬剤耐性菌を生み出す原因にもなります。熱の原因を特定して抗菌薬が必要ではない方には抗菌薬を使わないようにすることも仕事の1つです。

今後も新たな新興感染症の脅威に対して対処できるような人材を育成して、愛媛県の医療に貢献したいと考えています。

新興感染症の今後を見据えて予防をしましょう！



新型コロナウイルス感染症の流行により新興感染症の脅威を皆さん感じていると思いますが、実はコロナ禍以前から新興感染症の流行は予想されていました。ビジネスや観光、労働者や移民の増加により、国内と海外で人の移動が盛んになると新たな病気が持ち込まれやすくなるためです。数年前には海外からデング熱が入って流行したほか、麻疹、風疹、梅毒も国内に持ち込まれて感染者が増加しました。

今後も新たなコロナウイルスやインフルエンザウイルスが10年規模の周期で流行することが予想されますので、引き続き予防を心がけるようにしましょう。

当院の
ドクターを
紹介します

ドクターズカルテ

消化器外科 発知 まさのり 将規先生
Doctor



▲手術支援ロボットのダヴィンチと共に

消化器外科の発知将規と申します。徳島県阿南市出身です。1997年に徳島大学医学部を卒業し、2012年4月から当院消化器外科で勤務しております。専門は大腸癌の外科治療です。腹腔鏡や手術支援ロボットのダヴィンチを用いることで、患者さんの身体的負担を少なくし、機能を温存しつつ根治性の高い低侵襲手術を行なっています。

最近の新たな取り組みは、「料理」と「教育」です。コロナ禍の影響によって自宅で過ごす時間も増え、週末の家族の夕食はほとんど私が作るようになりました。最も得意な料理は「山芋の梅しそ肉巻き」です。若手外科医の教育にも力を注ぎ、バランスの取れた優秀な医師を育成することで、今後も愛媛県の医療に貢献したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



▲得意料理の山芋の梅しそ肉巻き



当院の
研修医を
紹介します

Resident

1 年次研修医
はたけやま つばさ
畠山 翔先生

興味関心のあることは何ですか？

大学の時にダイビングのライセンスを取得しました。残念ながら働き始めてからは行けていませんが、落ち着いたら愛南町の海にも潜りに行きたいです。レベルアップして、自分でも水中の景色や生物を撮れるようになりたいと思っています。

日頃気を付けていることは何ですか？

日々歩くことを心がけています。学生の時はテニスやマラソンに参加していましたが、活動しなくなったら運動不足を感じています。可能な範囲で階段を使うようにして、近いところなら車を使わずに歩いて出かけるように心がけています。

今後の目標は何ですか？

1つ1つの診療科で、知識やできる手技を増やしていきたいです。どの専門分野に進むかはまだ決めていませんが、地域医療に貢献できるよう日々成長していきたいです。



▲研修医の勉強会で腰椎穿刺を教えていただいている様子（右側）



▲ダイビング中にウミガメに遭遇（右側）



喜ばれるお食事を安心・安全にご提供します 日清医療食品

日清医療食品は、管理栄養士の立案した献立に基づき、食材の仕入れ・調理・配膳・食器洗浄等の業務を院内厨房にて行っております。食事を召し上がる患者さんには、治療や療養が必要な方など、一人ひとりの状況を踏まえたバランスの取れた食事が必要です。安心・安全な食材の仕入れはもちろん、患者さんにおいしく食べてもらえるように心を込めて調理しています。

総勢 66 名の社員が交代で勤務しており、各厨房内でのポジション責任者と連携を図りながら、アレルギーや治療食対応など、365 日安心・安全な食事提供に努めています。

医食同源（日常の食生活に気を配ることが、一番の病気予防・治療になる）という言葉がありますように、当社も食事を通じて患者さんの笑顔や健康を願い、日々、安心・安全でおいしい食事を提供してまいります。



▲日清医療食品スタッフ

▼ごはん盛付中



心をこめて
作るきやん♡



▲トレイメイク作業中。間違いがないよう、綺麗に並べて患者さんのところへお届けします！

転入・転出医師 (2021.5.2 ~ 2021.8.31)

転入

所属	氏名	専門
産婦人科	丹下 景子	専攻医
腎臓内科	谷村 智史	腎疾患全般、血液浄化療法
眼科	城戸 龍樹	眼科一般、白内障

転出

所属	氏名
産婦人科	井上 唯
腎臓内科	高橋 謙作
消化器内科	鶴田 美帆
耳鼻咽喉科	細川 裕貴
眼科	立花 亮祐



愛媛県立中央病院 のご紹介

※2020年度1年間の集計

医師・歯科医師数



295人

(正規・臨時・パート・嘱託職員を含む)
※2021年4月1日現在

看護師数



797人

(正規職員のみ)
※2021年4月1日現在

専門・認定看護師数

27人

※2021年4月1日現在

病床数



827床

※許可病床数

救急受診患者数

5,071人

※3次救急 等

救急車での搬送件数



3,187件

※3次救急 等

入院延患者数

187,188人

新入院患者数

15,972人

1日平均新入院患者数

43.8人

外来延患者数

332,071人

1日平均患者数

1,366.5人

紹介患者数 (初診のみ)

14,327人

紹介率

73.4%

逆紹介率

118.4%

平均在院日数

11.7日

※DPC分析ツールにより算出

ドクターヘリ出動件数

290件



年間手術件数 (手術室実施分)

7,927件

外来化学療法年間実施件数

※2020年（1月～12月）

8,705件

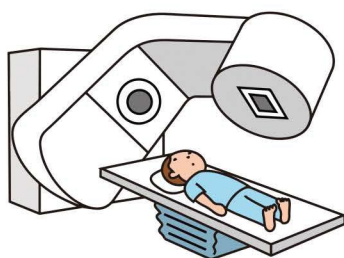
PET-CT 検査件数

2,680件

放射線治療患者数

※2020年（1月～12月）

409人



ロボット支援手術件数

290件

※実施件数



手術支援ロボット

分娩数

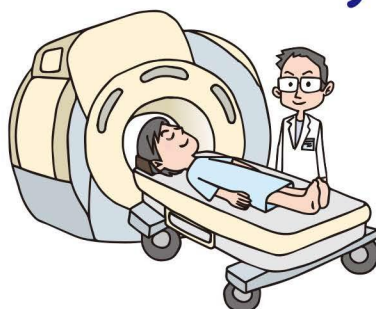


917件

※2020年（1月～12月）

MRI 検査件数

10,630件



内視鏡検査・治療総件数

9,570件

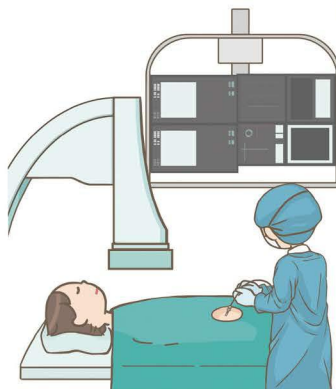
※2020年（1月～12月）



心臓カテーテル検査・治療総件数

1,326件

※2020年（1月～12月）



リハビリテーション依頼患者数

3,417人

※2020年（1月～12月）

連携医療機関紹介 ～第23回～

医療法人響き会 まつやま余戸南診療所

- 所在地 松山市余戸南 1 丁目 24-31
- TEL 089-965-0373 ■FAX 089-965-0375
- 診療科目 内科・消化器内科・外科
- 外来診療時間 休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	×
14:00～18:00	○	○	○	×	○	×	×

【病院の概要】2019年1月、松山市内の国道56号線沿いに開院しました（ペットステップ前）。2名の医師、大城辰雄・大城久子と、常勤看護師・事務スタッフ7名にて診療を行っています。

【病院の特徴】外来では、地域のかかりつけ医として、内科・消化器内科・外科・内視鏡検査をはじめ、腫瘍・緩和ケア内科等も含めた総合診療を行っています。在宅では、進行再発がん・神経疾患・高齢患者さん等を対象に、市内の7つの訪問看護ステーションと連携のうえ、訪問診療を行っています。①外来での診断・治療・定期フォロー～②加齢・病状悪化に伴い通院困難となった際の在宅診療～③緩和ケア・看取りまで、Illness trajectory（病気の軌跡）の全フェイズで細やかな医療を提供することを目指しています。



松山医療生活協同組合 松山協和病院

- 所在地 松山市立花 5 丁目 1-53
- TEL 089-932-1712 ■FAX 089-933-2705
- ホームページ <http://kyowahp.com>
- 診療科目 内科・消化器内科・呼吸器内科・整形外科・リハビリテーション
- 外来診療時間 休診日 土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30 (受付は8:45～12:00)	○	○	○	○	○	○	×
14:00～17:00 (受付は13:45～17:00)	○	○	○	○	○	×	×

※整形外科は火曜・木曜・土曜の診療で、火曜・木曜は午後のみ

【病院の概要】当法人は1950年9月に医療生協として設立し、昨年70周年を迎えました。戦後まもなく地域住民の切実な医療要求に応え、立花診療所として開設したのが始まりです。その後、1966年7月に松山協和病院と名前を改め、現在に至っています。「健康で平和な、いのち輝く地域をつくります。」を理念に掲げて診療を行っています。

【病院の特徴】消化器内科を主に、内科全般の診療を行っています。2020年8月からは、協会けんぽ生活習慣病予防健診委託機関となり、特定健診と合わせて地域の健康づくりに取り組んでいます。また、法人としては、今年度開設した「小規模多機能ホーム虹の家」をはじめ、介護事業6事業を展開しています。地域の活動では、ボランティアの方々の活躍により、サロンや班会を実施するなど、積極的に地域交流の場に参加し活動しています。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。（紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。）

